

令和9年度 神戸市政に対する要望書を提出

中小企業の事業継続の支援や神戸空港国際定期便就航に向けた対応を要望

当商工会議所では、神戸市の施策や予算措置に商工会議所の意見を反映させるべく、市に対する要望活動を毎年実施している。今般、「令和9年度神戸市政に対する要望」を取りまとめ、9月29日、川崎会頭が久元市長、横畑市会議長らに要望書を提出した。

今回の要望では、中東情勢の悪化や円安の定着により原材料・エネルギー価格の高騰が続く中、「中小企業の事業継続に向けた支援」を求めるとともに、「神戸空港国際定期便就航に向け

た対応」や「まちの賑わい創出」など、全23項目を盛り込んだ。

要望の席上、川崎会頭は、「神戸空港国際線の路線拡大に向けては国内線の活性化も重要になる」と述べ、次年度神戸で開催予定の“地方空港サミット”などを通じた地方空港間の連携強化の重要性を強調。また、韓国・台湾など既存就航先との経済交流の深化や東南アジアとの新たな路線開設に向けて、官民連携で取り組むよう求めた。

久元市長は、「東アジアに続く新た

な就航先を見出すため、駐機場やターミナルの整備など空港機能の強化を遅れなく進める」と応じるとともに、「就航都市との連携強化を通じ、観光客誘致だけでなく、ビジネスマッチングや販路拡大にもつなげてほしい」と期待を示した。

当商工会議所では、今後も経済動向や国際情勢を注視しつつ、神戸経済の発展を図るべく、地元行政に対し意見要望活動を継続していく。



久元市長（左）に要望書を手交する川崎会頭



横畑議長（中央）、白國副議長（右）に要望

要望事項

1. 中小企業の事業継続に向けた支援

- (1) 原材料高騰やコストアップの影響を受ける中小企業への支援強化
- (2) 多様な人材の確保に向けた支援と産学連携の推進
- (3) 円滑な事業承継支援
- (4) 地域商業の活性化に向けた支援

2. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

- (1) デジタル・AI活用および実装推進
- (2) セキュリティ対策強化に向けた支援
- (3) 販路開拓や海外ビジネス拡大に向けた支援
- (4) 脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

3. 神戸空港国際定期便就航に向けた対応

- (1) 神戸空港・空港島の利活用促進・プロモーション強化
- (2) 神戸空港の規制緩和・撤廃に向けた働きかけ強化
- (3) 2030年の国際定期便就航に向けたターミナルの機能強化
- (4) 時間軸・需要を見据えた南北アクセスの強化

4. 都市基盤の整備

- (1) 都心・三宮の再整備加速化ならびにウォーターフロント・元町など、周辺エリアとの回遊性向上
- (2) ポートアイランド等主要拠点の魅力向上・地域活性化
- (3) 神戸港の国際競争力強化と魅力あるみなとづくりの推進
- (4) 道路ネットワークの早期整備

5. まちの賑わい創出

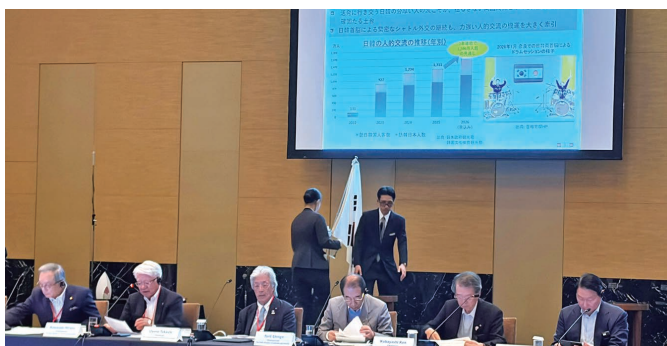
- (1) 神戸空港国際化を活かしたインバウンド誘客促進
- (2) MICE誘致競争力強化による神戸の都市価値の向上
- (3) 神戸固有の自然資産等を活用した観光振興
- (4) スポーツを核としたまちの魅力創造

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

- (1) 地域経済を牽引する新たな成長産業の育成・誘致
- (2) スタートアップ進出拠点として選ばれるスタートアップフレンドリーなまちづくり
- (3) 神戸の魅力を活かした外資系企業の誘致強化

8.30～31 「日韓で地域から切り拓く未来」 をテーマに協議

第15回日韓商工会議所首脳会議



日本商工会議所と大韓商工会議所の主催による首脳会議が仙台市で開催され、日韓の主要商工会議所会頭ら約120名が出席した。

会議では、両国の地域間交流の促進などについて意見交換が行われ、川崎会頭は、神戸空港国際化を契機とした仁川・昌原商工会議所とのビジネス交流の事例を紹介した。

今後、AI・半導体・クリーンエネルギーなどの分野での連携を深め、両国が直面する著しい人口減少や首都圏への一極集中などの課題解決に向けて協力することを盛り込んだ共同声明が採択された。

産業部国際チーム

8.31 スタートアップと 地元企業の新規事業担当者が交流

「金融部会」×「神戸イノベーション・コミュニティ」MEET UP!



神戸イノベーション・コミュニティは、日本政策金融公庫とともにミートアップイベントを開催した。

当日は、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム「金融部会」が支援しているスタートアップ4社によるピッチを実施。ALSの早期診断と薬効評価システムの実現に取り組むSONoALS(株)や、メタバース×バーチャルアーティストのエンタメ事業を行う(株)STAR Collectionなどが事業紹介を行った。

ピッチ後には、参加した地元企業の新規事業担当者とスタートアップによる活発な意見交換が行われた。

産業部産業振興チーム

9.2 地域未来戦略の全体像と 関西圏の動向を学ぶ

機械・エネルギー部会主催講演会



機械・エネルギー部会は、近畿経済産業局総務企画部長の楠木真次氏を講師に迎え、近畿地域における成長戦略をテーマに講演会を開催した。

楠木氏は、高市政権が掲げる「日本成長戦略」と「地域未来戦略」の動向を説明。神戸医療産業都市が強みを持つ「バイオ関連産業」や兵庫県が力を入れる「空モビリティ」を中心に、関西圏で戦略産業クラスター計画の策定が進んでいる状況を紹介し、今後、計画における企業拠点やインフラの整備に官民一体で投資する方向性を示した。

地域政策部

9.3～4 西日本最大級の 産業総合展示会に533社が出展

国際フロンティア産業メッセ2026



当商工会議所や兵庫県・神戸市・NIROなどで構成する実行委員会は、「国際フロンティア産業メッセ2026」を神戸国際展示場で開催した。

今年度は過去最多となる533社が出展し、フィジカルAIやロボット、バイオ、ドローンなど先端技術を紹介したほか、大阪・関西万博においてデモフライトを行った「空飛ぶクルマ」の1/5モデルを展示。(株)竹中工務店特別顧問の難波正人氏による特別講演なども行われた。

2日間の会期中には昨年を上回る約15,400人が来場し、出展者との活発な交流や商談が行われた。

産業部国際チーム

9.15

岡山県倉敷市のまちづくりを学ぶ

賑わい創出委員会視察会



賑わい創出委員会は、岡山県倉敷市を訪問し、事業者や住民、自治体が一体となってまちづくりを進める組織『くらし・き・になるエリアプラットフォーム』代表の中村泰典氏から、活動内容や組織運営について話を聞いた。

中村氏は、倉敷市中心部の将来像をまとめた『未来ビジョン』の作成プロセスを紹介し、「様々な立場の参加者が共感できるよう丁寧にまとめた」と強調。「観光と暮らしを両立させ、訪れたい、住み続けたいまちを実現することが重要」と語った。その後、神戸の賑わいづくりの参考とすべく、参加者と活発な意見交換が行われた。

地域政策部

9.25

売上高100億円を目指す 中小企業の支援策を学ぶ

『100億宣言』と『中小企業成長加速化補助金』説明会



企業経営委員会は、近畿経済産業局の磯貝智子氏と中小企業診断士の藤尾政明氏を講師に迎え、国の中小企業支援施策を紹介する説明会を開催した。

磯貝氏は、売上高100億円を目指す中小企業に対して、政府が投資・賃上げ面で強力に後押しし、地域経済の成長につなげる方針を説明。2028年までに5,000社の『100億宣言』を目標とする中、神戸の企業の挑戦を呼びかけた。

藤尾氏は、『100億宣言』を表明した企業の大規模投資を支援する『中小企業成長加速化補助金』の申請要件や計画書作成のポイントを解説した。

中小企業振興部振興チーム

9.28

今後のトランプ政権の動向を学ぶ

貿易部会、金融・専門サービス部会主催講演会



貿易部会ならびに金融・専門サービス部会は、同志社大学法学部教授の村田晃嗣氏を迎え、トランプ政権やアメリカの動向をテーマに講演会を開催した。

村田氏は、中東情勢や米中関係などトランプ政権によって揺れ動く世界情勢の今後について、「トランプ氏は中間選挙まで景気への悪影響を避けるため米中関係を安定させたい意向だが蜜月期は長く続かない」と予測。また、「中国は米中関係が悪化すると日本へ和解のメッセージを出す傾向がある。一方で日本は対中依存度を見直し体質改善を図ることが重要だ」と強調した。

産業部国際チーム

9.11~12.6

映画館で KOBEの素敵な逸品を展示販売

「kino cinéma神戸国際」チャレンジ出品事業



神戸国際会館11階の映画館“kino cinéma神戸国際”のロビーに展示ブースを構え、地元事業者の食品や雑貨を展示販売するチャレンジ出品事業を実施している。

本事業は、地元企業の優れた商品の認知度拡大やブランド力向上を目的として昨年度より開始したもの。第1クールでは、“災害用携帯トイレ”や“神戸牛のふりかけ”などを取り扱う12社が参加し、来場者に対して商品PRを行っている。

参加事業者からは、「新商品のテスト販売ができ、販路拡大の一歩として手応えを感じた」と力強い声が聞かれた。続く第2クールは12月中旬からの実施を予定している。

中央支部